



馬車道通信

移転先のお知らせ

関内ホール改修期間中（平成29年11月13日（月）から平成30年9月30日（日）まで）、青少年育成センターは一時移転し、現在の業務を継続します。移転先が決まりましたので、下記のとおりご案内いたします。

利用者の皆さまにはご不便をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願ひします。



現横浜市青少年育成センター
関内ホール地下1階



名 称：松栄関内ビル 7階
（1階にローソン、ドトール）
所在地：中区住吉町2-22
現青少年育成センターから徒歩4分
市営地下鉄関内駅から徒歩3分
JR 関内駅から徒歩4分

- ◆開館時間：9時から22時（日祝は17時まで）
- ◆休館日：第2・4月曜日、年末・年始
- ◆連絡先：045-664-6251
- ◆開館時間・連絡先は移転前と同じです。

【移転期間】

平成29年12月1日（金）から平成30年9月30日（日）まで

※平成29年11月13日（月）から11月30日（木）までは移転準備期間のため休館。現センターのご利用は、平成29年11月12日（日）までとなります。

【移転する研修室等】

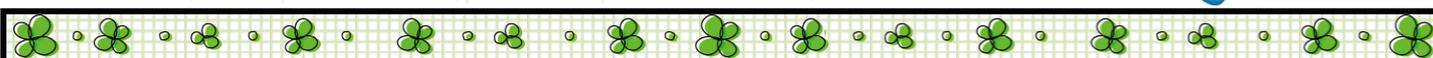
移転する研修室等は、**第1研修室、第2研修室、ミーティングルーム**です。

※スタジオ、和室は移転しないため利用はできません。なお、各部屋の面積、利用料金・時間については、変更ありません。

【その他】

民間ビルを賃借しますので、他の入居者への配慮のため、音量や振動の大きさによっては（マイクの使用を含む）、活動に制限が出る可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

移転先での
ご利用を
お待ちしております！



コーチング 入門講座（2週連続講座）&ステップアップ講座

人との対話を通じて、豊かな人間関係を築き、相手の能力や可能性、やる気を引き出すコミュニケーションスキル、それが「コーチング」です。教育現場や企業をはじめ、地域、家庭、団体など様々な場で活用できるスキルとして注目されています。

入門講座（2週連続講座）

日時・会場：平成29年10月11日(水)・18日(水) 19:00～21:00 横浜市青少年育成センター

参加費・定員：3,000円(2回分 資料代 他) / 30名(先着順)※下記に申込方法あります

対象：青少年育成活動に関わる方、コーチングに関心のある方(高校生以上)など

内容：コーチングの基礎理論、ロールプレイによる実践、実際の活用例の紹介、事例検討 など

ステップアップ講座(入門講座受講後、さらに学びたい!という方の為に)

日時・会場：平成29年10月25日(水) 19:00～21:00 横浜市青少年育成センター

参加費・定員：2,000円(資料代 他) / 30名(先着順)

対象：入門講座を受講された方、もしくは相当の経験のある方

内容：コーチング実践法の講義、ロールプレイによる演習、事例検討 など

申込：氏名(フリガナ)、連絡先、職業等(所属)、参加日をTEL/FAX、E-mailでお知らせください

講師：川本 正秀 氏 (共育コーチング研究会代表、前公立中学校校長、(一財)生涯学習開発財団認定プロフェッショナルコーチ)

馬車道 コラム Vol.55 「フェンスの向こうのアメリカ」

ワイフの実家がある新潟への帰省を兼ねて、庄内地方を旅行した。

1日目の昼食は、北前船の拠点港として栄えた酒田港の「酒田海鮮市場」でおいしい魚介類をいただいた。広い駐車場にはほとんど空きがなく、車の駐車スペースを探すのに一苦勞であった。駐車している車を見ると、「庄内」「山形」ナンバーばかりで、2階のレストランには地元の方と思しき長蛇の列ができていた。この市場が観光客ではなく、地元の人々に支えられていることがわかる。昼食後、近くにある山居(さんきょ)倉庫にも立ち寄る。明治26年に米蔵として建てられた倉庫は郷土料理を扱うお洒落なレストランやみやげ物屋に改装されていたが、樹齢150年の樺(けやき)とのコントラストはしっとりとした趣を呈し、凜とした佇まいとなっている。

その日の宿は、鶴岡市の温海(あつみ)温泉。翌朝の朝食はバイキング形式のものだったが、「おみ漬け」「だし」「芋煮」「岩のり」「エゲシ」「もずく」といった庄内ならではの名産ばかりが並び、あまりのおいしさに4杯もご飯をお代わりしてしまった。たった1泊2日の庄内観光ではあったが、長年に渡って、人々に愛され、育まれた味や

文化の気高さに触れたようであった。

横浜というと外国文化を積極的に受け入れてきたことで発展してきたイメージが強い。1970年代、「フェンスの向こうのアメリカ」という言葉が象徴するように、本牧界隈はアメリカ文化に溢れ、ジャズやロックなどアメリカ音楽の発信地的な場所として、またユーミンの「海を見ていた午後」や「ハマトラ・ファッション」に代表されるように横浜は独自文化の臭い漂う街であった。



(酒田市「山居倉庫」にて)

今は「港」「中華街」「しゅうまい」「肉まん」「家系ラーメン」「サンマ—麺」といった横浜の名物は数々あるが、横浜の多くの人々に愛され、支えられ、磨かれ、今も人々の間で愛されてきたものとしては何があるのだろうか?と思案する今日この頃である。

<ジャズおやじ>

【お申込み/お問合わせ】※感想や情報をお寄せ下さい。

横浜市青少年育成センター TEL:045-664-6251 FAX:045-664-6254 E-mail: ikusei@yokohama-youth.jp

